

# 不祥事防止のための校内ルール

令和5年度 新見市立大佐中学校

## \* 自らの行動に対して・・・

- ◎家族に胸をはって話せるか？
- ◎安易に大丈夫とっていないか？
- ◎第三者としてどう思うか？

と、常に自問していきましょう！

## I わいせつ・セクハラ

- 一人対一人で生徒を指導する時は、ドアを開けておくなど、密室とならないよう配慮している。
- 携帯電話を利用して生徒（卒業生）と電話やメールで個人的な連絡を取ったり、生徒（卒業生）と電話番号やアドレス、LINEのID等を交換していない。
- 生徒（卒業生）を自家用車に同乗させない。
- 週休日等に、生徒（卒業生）と個人的に学校外で会っていない。
- 宿泊を伴う行事での見回りは、複数の教職員で担当し、一人で異性の部屋に入っていない。
- 飲酒をした上で、生徒を指導していない。

## II 体罰

- 「体罰は愛のムチ」、「体罰やむなし」と肯定していない。
- 生徒への指導は、感情的にならず、教育的配慮を持って行っている。
- 自分一人で課題を抱え込むのではなく、同僚や管理職に相談している。
- 体罰をしている（体罰を行いそうな）同僚を見たら、速やかに止めるとともに、管理職に必ず報告する。
- 部活動の指導では、勝利至上主義に陥っていない。
- 体罰の禁止、懲戒の範囲について、十分に理解している。
- その行為を学校外（公衆の面前）で行うと大問題になると、念頭に置いている。

## III 個人情報取り扱い

- やむを得ず個人情報を持ち出す場合は、管理職の許可を取っている。その場合、自宅に着くまで肌身離さず、直接持ち歩いている。（途中、寄り道をしない。）
- 登録していないUSB等の外部記録媒体を使用しない。
- 個人情報を机上やパソコンの画面上に出したまま席を離れていない。
- 保護者から連絡先の問合せがあっても、相手側の許可なく教えることはしない。
- 職員録や生徒個人調査票を外部の者に見せたり（貸し出したり）しない。
- 個人情報を含むデータを、自宅のパソコンに保存していない。
- 生徒の画像等を使用する時は、2次被害に十分注意している。
- 目的外に個人情報を収集し、使用していない。
- 車上荒らしやひったくりによる個人情報の盗難が多いことを理解している。

## IV 飲酒（酒気帯び） 運転

- 飲酒を伴う会合に行く時は、必ず車を自宅等に置いて会場に行っている。
- やむを得ず飲酒を伴う会合に車でいった場合は、他の人に車で来ていることを告げたり、管理職などに鍵を預けたり、車中泊はしないなど、誤って車を運転しないような対策をとっている。
- 深夜まで飲酒した時は、翌朝、運転しない。（二日酔いが想定される場合は、安易な判断をせず、年休。）
- 飲酒の量を自分でコントロールできる。
- 車を運転する者に飲酒をさせた者、飲酒している者に運転させた者、同乗していた者も罪に問われることを認識している。
- 自転車も車両であることを認識している。

## V 交通事故

- 人身事故を起こした場合には、被害者及びその家族のみならず、自らの家族にも心身の苦痛を与えることを理解している。
- 時間に余裕を持って出発している。
- 軽微な事案でも、必ず警察に届け出る。
- 交通事故を起こした場合、懲戒処分を受ける場合もあることを認識している。
- 携帯電話やカーナビゲーション等を操作しながら、運転しない。
- 普段から交通ルールを守っている。

## VI 公金の取り扱い

- 公金や学校徴収金については、一時的な立て替えであっても、流用していない。
- 学校徴収金のすべての会計において、キャッシュカードを作成していない。
- 学期末には必ず管理職の点検（監査）を受けている。
- 業者に対して、違う品物の納品等を依頼していない。
- 現金は通帳で管理し、入金・出金を正確に記帳するとともに、領収証との日付に整合性を持たせる。
- 学校徴収金等の現金を、ロッカーや机、耐火書庫に保管していない。
- 当該年度の収支完了後、速やかに決算書を作成し、残金等の処理について最終学年については卒業式までに、他の学年については年度末までに保護者宛に返金している。

## VII その他

- 勤務時間中は、職務に専念する義務がある。（私的な電話やメールはしない。）
- スマートフォンの使用については、原則職員室内とする。
- 飲酒の席で、他人（他団体）に聞かれてはいけない話題を話してはいない。  
また、飲酒量が多くなってしまった場合の帰宅方法について、配慮している。
- 税金等の納付期限内納付を確実にしている。
- 利害関係にある業者等からの接待や金品の贈与を受けていない。
- 校内の部屋や教室を特定の教職員が個室的な使用をしていないか。
- 磨りガラス等で中が見えない部屋や空間が存在していないか。
- 職場は、互いに相談し支え合える人間関係になっているか。